

東日本大震災を風化させない！セブン&アイ社員ボランティア活動 宮城県七ヶ浜町産わかめ・海苔を社員へ販売！



セブン&アイ・フードシステムズ
イトーヨーカドー

2017/4/5

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション

東日本大震災直後、セブン&アイ・フードシステムズの従業員のボランティア活動が始まりとなり、現在ではセブン&アイグループ全体に広がり、定期的に宮城県七ヶ浜町にボランティア活動で、わかめや海苔の収穫作業などを行っています。毎年、本部やグループ各店舗の食堂では、七ヶ浜産のわかめや海苔を使用したメニューを期間限定で提供しています。また、セブン&アイグループ社員向けに良質なわかめ・海苔の販売を行っています。売り上げの一部は支援金として現地の復興に役立てていただいています。

ボランティア活動をしている七ヶ浜町にご協力いただき、アリオ北砂にて開催された東北かけはしプロジェクト物産展に出店いただき、これまでのボランティア活動をお客様へお伝えすると同時に、七ヶ浜産の良質な商品をお客様にご紹介しました。

東日本大震災から6年が経過し、風化させることなくセブン&アイグループ社員は、これからも「復興のかけはし」の輪を広げてまいります。



セブン&アイ・フードシステムズ
給食事業部 営業業務
金子 真弓 (左) 小南 はるか (右)
イトーヨーカドー CSR推進部
マネジャー 古賀 紀徳 (中央)

四ツ谷本部にて社員販売会開催



本部・店舗社員食堂メニューで提供



「東北かけはしプロジェクト」アリオ北砂店での物産展、震災復興のパネル展示



関連情報

七ヶ浜町観光協会 <http://shichigahama-kanko.com/>